



淀川区まちづくりセンターのスタッフが地域を訪問し、興味を持ったスポットや取り組みを紹介するシリーズ。

第5回目は、三津屋を訪れました。

2年前はこんなに大きな空き地でした。(写真Googleearth)



①阪急神崎川駅前

改札を西側に出ると、広場とスーパー、その奥には15階建てマンションの景色が広がります。武田薬品工場跡地だったこの場所は長い間空き地でしたが、駅前という立地を活かして整備されました。現在工事中の棟が完成すれば、745世帯の人たちが住む場所となり、これから更に活気ある駅前になることが期待されています。



②みつや交流亭

三津屋商店街にある市民交流スペース「みつや交流亭」。

入口のオープンスペースは、昼間は誰でも利用可能な場所として開放されていて、子どもたちが水を飲んだり、ベンチでお年寄りがおしゃべりしたり、ほのぼのと交流できる空間です。また、「つどいの広場」は、和室で子どもを遊ばせながら気軽に育児などのおしゃべりができる場になっています。



三津屋商店街はヤカーリング発祥の地

ヤカーリングとは、やかんをカーリングのストーンに見立てて点数を競う、三津屋商店街が発明した競技。

年に2回、世界大会が開催されています。

◀店先につるされた宣伝用のやかん



③光専寺(三津屋城跡伝承地)

かつて、三津屋地域にはお城があったこと想像できますか?南北朝時代の武将である楠木正行が築いた三津屋城が、光専寺の場所にあったといわれています。この地で武将たちの合戦があったかもしれない…、そんな事を感じながら三津屋の地を散策するのもいいですね。

淀川区まちづくりセンター Facebook 淀川区まちセン FB 検索 地域情報発信中!!

スピード チャレンジ



それいけ、まさふみ!

淀川区長 榎 正文

こども家庭の実態調査に、区民のみなさまのご協力を!

大阪市ではこどもの貧困解消が喫緊の課題になっています。6月2日にこどもの貧困対策推進本部会議が開催され、こども家庭の実情を詳しく調査し政策に反映するため、この6月下旬から7月上旬にかけて、中学2年生、小学5年生の本人と保護者全員、未就学5歳児の保護者全員に大規模アンケート調査を実施することを決定しました。

6月号でもふれましたが、こどもの貧困家庭の状況は、ただ「経済的な貧困」のみが問題ではなく、同時に様々な逆境、多重化した困難が存在し、親も子ども、同じように追いつめられています。ここは行政と地域社会を含めた全体で、きめ細やかに支えていく必要があります。

大事なことは「届く政策」にしておくことです。それには立案の元となる本アンケートの回収率をとにかく上げ、できるだけ正確に実態を把握する必要があります。困っていて支援を必要としている家庭ほど、地域社会とのつながりが希薄であり、アンケートにも回答しないのではないか、という指摘があります。今回行うアンケートは無記名となっています。アンケートの声は急ぎ来年度の政策に、必ず反映さ

れます。今回のアンケート結果を、こどもたちの豊かな未来につなげる政策にしていけるために、民生委員やこども会、青少年指導員、青少年福祉委員、PTA・保護者、町会のご近所さんなど、淀川区民の皆さまには、アンケートの回収率アップにぜひともご理解とご協力をいただきたく、ご自分の心当たりの周囲のご家庭に、「アンケート回答した?」とお声掛けを、ぜひともお願いいたします。(9面に関連記事)

その思い、区長に話してみませんか!?

区長の榎が、区政へのご意見、ご要望、ご提案を直接お聞きします。お一人10分間です。思いを届けるチャンスですよ!!

日時 毎週金曜日 18:00~18:30

毎月第4日曜日 10:00~11:00

場所 区役所1階ロビー 受付 予約不要

※開始10分前に複数おられる場合は抽選とします。

※公務等で開催できない場合は☎、ツイッター等でお知らせします。

問合せ 政策企画課 5階51番 ☎6308-9683

広報誌の配布方法

区広報誌「よどマガ」は、毎月1日から4日までの間に全戸配布でお届けしています。配布漏れ等のお問合せは、株式会社ランプラス(☎4256-8915)まで。点字版や音訳版もあります。詳しくは、政策企画課(☎6308-9404)まで。ホームページでもご覧いただけます。

よどマガ 検索